

2月26日（第2日）

2月26日(木)第2日 午前10時00分開議

出席議員

1番	平川博之	2番	酒永光志
3番	上本一男	4番	中下修司
5番	花野伸二	6番	浜先秀二
7番	上松英邦	8番	吉野伸康
9番	山本秀男	10番	片平司
11番	胡子雅信	12番	林久光
13番	登地靖徳	14番	浜西金満
15番	山本一也	16番	新家勇二
17番	野崎剛睦	18番	山根啓志

欠席議員

なし

本会議に説明のため出席した者の職氏名

市長	田中 達美	副市長	正井 嘉明
教育長	塚田 秀也	総務部長	土手 三生
企画部長	山本 修司	市民生活部長	山田 淳
福祉保健部長	島津 慎二	産業部長	沼田 英士
土木建築部長	箱田 伸洋	会計管理者	久保岡ゆかり
教育次長	渡辺 高久	危機管理監	岡野 数正
消防長	小林 勉	企業局長	前 政司

本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	平井 和則
議会事務局次長	志茂 典幸

議事日程

日程第1	市長施政方針
日程第2	議案第1号 平成27年度江田島市一般会計予算
日程第3	議案第2号 平成27年度江田島市国民健康保険特別会計予算
日程第4	議案第3号 平成27年度江田島市後期高齢者医療特別会計予算
日程第5	議案第4号 平成27年度江田島市介護保険(保険事業勘定)特別会計予算
日程第6	議案第5号 平成27年度江田島市介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計予算
日程第7	議案第6号 平成27年度江田島市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

日程第 8	議案第 7 号	平成 2 7 年度江田島市港湾管理特別会計予算
日程第 9	議案第 8 号	平成 2 7 年度江田島市地域開発事業特別会計予算
日程第 1 0	議案第 9 号	平成 2 7 年度江田島市宿泊施設事業特別会計予算
日程第 1 1	議案第 1 0 号	平成 2 7 年度江田島市交通船事業特別会計予算
日程第 1 2	議案第 1 1 号	平成 2 7 年度江田島市水道事業会計予算
日程第 1 3	議案第 1 2 号	平成 2 7 年度江田島市下水道事業会計予算
日程第 1 4	議案第 1 3 号	平成 2 7 年度江田島市交通船事業会計予算

開会（開議） 午前10時00分

○議長（山根啓志君） ただいまの出席議員は18名です。

これより平成27年第1回江田島市市議会定例会2日目を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程第1 市長施政方針

○議長（山根啓志君） 日程第1、市長施政方針を行います。

田中市長。

○市長（田中達美君） 改めましておはようございます。

昨日に引き続いての定例会2日目、大変御苦勞さんでございます。

平成27年度江田島市当初予算案の提出に際しまして、私の施政方針を述べさせていただきます。

初めに、昨年我が国の経済は、いわゆるアベノミクスの推進により、緩やかな回復基調にあるものの、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減などにより、年度前半の実質GDP成長率はマイナスとなりました。しかしながら、ことし1月に出された国の経済見通しによると、平成27年度は雇用・所得環境の改善や堅調な内需に支えられた経済の好循環の進展が見込まれております。また、昨年は地方自治法の改正による連携中枢都市制度の創設や、まち・ひと・しごと創生法の成立など、将来の地方のあり方に関する大きな動きがありました。

国においては、生まれつつある経済の好循環を地方にも行き渡らせるとともに、元気で豊かな地方の創生を推進すべく、関連経費を盛り込んだ総額3兆円規模の補正予算並びに総額9.6兆円規模の当初予算案を編成しております。

また、県においても、来年度の県政運営の基本方針において、地方創生を大きな柱の一つに掲げ、新たな経済成長や人づくり、豊かな地域づくりなどを推進するとしております。

このように国や県においては、経済の活性化や地方創生に向けた方向性が強く打ち出されているところであり、本市としても今後こうした動きに呼応しつつ、江田島市の元気づくりに向け、スピード感を持って効果的な施策を着実に実施していくことが求められていると感じているところでございます。

まず、予算編成方針。

平成27年度予算は、合併・市制施行から11年目となる新たな未来に踏み出す節目の予算であるとともに、第2次江田島市総合計画に基づいて編成する初めての予算となります。来年度におきましては、引き続き、私の2期目のスローガンであります「交流・創造・実感」及び「行財政改革の着実な推進」を重点的なテーマとしつつ、これまで築いてきた成果をしっかりと生かすとともに、第2次江田島市総合計画において、将来像として掲げる「交流と協働で創りだす『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、力

強く踏み出してまいりたいと考えております。

それではまず、重点テーマであります「交流・創造・実感」についてでございます。

「交流」につきましては、外部人材を活用した地域活性化を図るべく、地域おこし協力隊の導入準備を行う地域おこし協力隊派遣事業や、本市への定住希望者に対し、えたじま暮らし体験の提供などを実施する交流定住促進事業、外国人市民の孤独化を防ぐべく、日本語サロンの開設支援などを実施する外国人市民交流事業等、新たな主体の活躍や協調を支える取り組みを盛り込んでおります。

また、交流人口のさらなる拡大に向け、拠点施設へ無線Wi-Fiなどを整備し、観光情報の発信力強化を図る魅力ある観光地づくり事業や、アクティビティに適した江田島市の環境を全国にPRするため、アウトドアスポーツイベントである「江田島SEATOSUMMIT」の開催などを盛り込んでおります。これらにより、市内外の人々の活発な交流を生み出し、江田島市の新たな活力づくりを進めてまいります。

次に、「創造」につきましては、江田島市の地域資源である農林水産物を生かし、6次産業化による新商品開発や、販路拡大を推進するための6次産業化総合支援事業や、新たな特産品としてのオリーブの栽培の振興を図るオリーブ振興推進補助事業など、新たなチャレンジを推進する取り組みを盛り込んでおります。

また、安全・安心な教育環境を整備する小学校耐震化等事業や、児童に適切な遊びや生活の場を提供する放課後児童クラブ事業、子ども・子育て支援事業計画に基づき、子供のきめ細やかな発育を支援するための認定こども園おおがきの増築及び大規模改修に係る設計など、次代を担う人材の育成に係る取り組みについても盛り込んでおります。

これらにより、地域の新たな価値の創出に向けたチャレンジや、それらを支える人材づくりを進めてまいります。

さらに、「実感」につきましては、生活習慣病の原因となる歯周病を予防するため、節目の年齢に達した市民の歯科受診費用について支援する節目年齢歯科健康診査事業、災害対応能力を高めるため、情報の一元管理が可能な情報通信システムを導入する災害情報管理システム事業、交通事業者などによる公共交通の利便性の向上を図る取り組みを支援する交通魅力アップ事業など、安全・安心な暮らしを支えるとともに、生活環境の向上を図るための取り組みを盛り込んでおります。

これらにより住みよさが実感できる江田島市づくりに向け、基盤の整備を進めてまいります。

続いて、「行財政改革の着実な推進」についてです。

これまでも持続可能な基礎自治体として、スリムで効率的な行財政運営を確立するための取り組みを進めてきたところでございます。しかしながら、歳入の根幹である市税は毎年減少し、地方交付税や国・県支出金などの依存財源に頼らざるを得ない財政構造となっていることから、引き続きしっかりと財政健全化に取り組み、新たな総合計画に基づく挑戦に必要な経営資源を確保していく必要があります。このため、市民の視点に立って、施策・事業の点検、検証、見直しを十分に行いつつ、第2次総合計画、第3次行財政改革大綱並びに第2次財政計画を一体のものとして着実に推進し、取り組みの実効性を高めてまいります。

今回の予算は、限られた財源の中で「選択と集中」を徹底しながらも、重点施策のテーマである「交流・創造・実感」につなげることを目指した予算であります。また、第2次江田島市総合計画に掲げる将来像の実現に向け、必要な取り組みを盛り込んだ初めての予算であることから、今回の予算は「新たな未来に踏み出す予算」ということができるのではないかと考えております。

平成27年度当初予算の概要についてですが、平成27年度の当初予算は、一般会計が前年度と比べ6億6,700万円、4.7%増の149億6,500万円となりました。また、特別会計は9会計で、前年度と比べ7億6,000万円、9.2%増の90億6,500万円、企業会計は3会計で前年度と比べ5億4,900万円、15%減の31億2,100万円となりました。企業会計を含む総予算規模は271億5,200万円で、前年度比3.3%の増でございます。

一般会計の内容を歳入から見ますと、市税では納税義務者数の減少や、個人所得の低迷による個人市民税の減少、評価替えによる固定資産税の減少などにより、前年度に比べ9,400万円の減、3.6%の減、地方交付税は合併特例加算の縮減や税収の減など考慮し、前年度に比べ3,000万円の減、0.4%の減を見込んでおります。

国庫支出金は、社会資本整備総合交付金や、学校施設環境改善交付金の増加などにより、1億8,400万円の増、16.8%の増、県支出金は民生費県負担金や統計調査費委託金の増加などにより4,500万円の増、5%増となっております。市債は、庁舎整備事業、公共施設再編整備事業、小学校整備事業などの普通建設事業費の増加などにより、その他一般会計債が前年度と比べ6億1,300万円の増、126.8%の増となっております。

なお、歳入不足分については、前年度と同様、基金の取り崩しを行っており、今回の予算では、財政調整基金から1億8,300万円の取り崩しを見込んでおります。

一般会計におけるプライマリーバランスは黒字で、平成27年度末の市債残高は、平成26年度末に比べ2億5,800万円減少する見込みです。

歳出におきましては、義務的経費は、人件費は職員手当、共済費の増、統計調査員報酬の増などにより増加し、扶助費も増加しましたが、市債元利償還金の減により、公債費が減少したことから、全体で5,100万円の減、0.7%の減となりました。投資的経費については、小学校屋内運動場耐震補強及び大規模改修工事、道路維持・改良事業の実施に伴い、補助事業は4億2,300万円の増、213%増、庁舎整備事業、公共施設再編整備事業の実施に伴い、単独事業は3億4,400万円の増、40.3%の増、港湾建設事業県負担金などの減少により、県営事業負担金が1,800万円の減、12.2%減で、全体で7億1,500万円の増、55.7%増となっております。

補助費等については、下水道事業会計、交通船事業会計への繰り出しの減少などにより1億7,000万円の減、8%の減、繰り出しについては国民健康保険特別会計や、介護保険（保険事業勘定）特別会計への繰り出しの増加などにより、3,400万円の増、3.2%の増となっております。

主要施策。

それでは、平成27年度の主な事業について、第2次総合計画に掲げる施策体系ごと

に新規・拡充事業を中心に説明いたします。

1 「人が育ち、輝くまち」、これは教育・文化部門でございます。

一つ、安全・安心な教育環境を整備するため、江田島小学校の屋内運動場について、耐震補強及び大規模改修工事を実施いたします。事業名は小学校耐震化等事業でございます。

一つ、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に適切な遊び場及び生活の場を提供する放課後児童クラブについて、対象者を6年生まで拡大の上、運営いたします。事業名は放課後児童健全育成事業です。

一つ、社会的に大きな問題となっている児童生徒のネットトラブルなどの撲滅に向けた対策を強化するため、講演会の開催や家庭に対する啓発などを実施いたします。事業名は家庭教育支援事業でございます。

2 「元気な産業・観光を生み出すまち」、産業・観光部門でございます。

一つ、江田島市の地域資源である農林水産物に、新たな付加価値を生み出し、産業の活性化を図るため、6次産業化による新商品開発や販路拡大を推進いたします。事業名は6次産業化総合支援事業でございます。

一つ、観光情報の発信力強化を図るため、江田島市の玄関口である港の待合所に、携帯端末などで情報取得が可能となる無料Wi-Fiなどを整備いたします。事業名、魅力ある観光地づくり事業でございます。

一つ、市内産業の活性化及び光回線網の活用促進を図るため、市外からの転入企業や市内の新規起業者が光回線網を利用するために必要な経費を支援いたします。事業名、光回線加入促進事業。

一つ、荒廃農地を整備し、オリーブ栽培に取り組む者に対して、整地や土壌改良に係る経費を補助し、新たな特産品としてのオリーブ栽培の振興を図ります。事業名、オリーブ振興推進補助事業。

一つ、アクティビティに適した江田島市の環境を全国にPRするため、アウトドアスポーツイベントである「江田島SEA TO SUMMIT」を開催いたします。事業名は、江田島SEA TO SUMMIT開催事業でございます。

3 「健康で安心して暮らせるまち」、福祉・保健部門でございます。

一つ、生活習慣病の原因となる歯周病を予防し、高齢期の健康な暮らしを支えるため、節目の年齢に達した市民の歯科受診費用について支援いたします。事業名、節目年齢歯科健康診査事業。

一つ、糖尿病ハイリスク対象者が重症化することを予防するため、プログラムに基づく個別指導を実施いたします。事業名、重症化予防指導事業でございます。

一つ、子ども・子育て支援事業計画に基づき、子供のきめ細かな発育を支援するため、認定こども園おおがきの増築及び大規模改修に係る設計を実施いたします。事業名、認定こども園おおがき増築・大規模改修設計。

4 「生活と環境を守り、高めるまち」、生活・環境部門関係でございます。

一つ、将来にわたる山林の多目的機能の維持発揮や、森林資源の保全を図るため、天然林の除間伐や下刈りを行うことにより、地域の景観に即した森づくり活動を展開いた

します。また、水産資源の増殖や漁場環境の維持修復等を図るため、カキ殻の除去や海底ごみの回収を促進いたします。事業名、ひろしまの森づくり事業、事業名、水産業振興対策事業。

一つ、地球に優しい省エネルギー型社会の構築に向けて、住宅用太陽光発電システムの設置を支援し、普及を促進いたします。事業名、住宅用太陽光発電システム等普及促進事業。

5 「災害に強く、安心して暮らせるまち」、安全・安心部門でございます。

一つ、災害時の市民の安心を確保するため、災害対策本部において情報の収集・共有・伝達が一元管理可能な情報通信システムを導入いたします。また、地域防災力の向上を図るため、自主防災組織などが行う防災活動を支援いたします。事業名、災害情報管理システム事業。事業名、地域防災活動等補助金事業。

一つ、防災拠点の現状を把握し、庁舎管理や今後の整備等の基礎資料とするため、消防本部庁舎の老朽化状況調査等を実施いたします。事業名は、消防庁舎老朽化状況等調査事業でございます。

一つ、狭隘地区への救急サービスの提供及び救命率の向上を図るため、軽救急自動車の追加配備を実施いたします。事業名、軽救急自動車導入事業。

6 「しっかりとした基盤を備えたまち」、基盤部門でございますが、一つ、将来の公共施設のあり方を見据え、ガイドライン等に基づいて、必要な庁舎の整備や、公共施設の再編整備を実施いたします。事業名は庁舎整備事業。事業名、公共施設再編整備事業。

一つ、持続可能な公共交通体系の構築のため、将来の江田島市の公共交通のあるべき姿や、それに必要な施策を整備するための計画を策定いたします。また、公共交通の魅力向上のために、交通事業者が行う公共交通の利便性の向上や、利用者の増加を図る取り組みなどを支援いたします。事業名、地域公共交通網形成計画の策定。事業名、交通魅力アップ事業。

一つ、通学路の安全確保の観点を踏まえた市道改良や、観光・交流人口の増加が期待できるかきしま街道サイクリングロードへのブルーラインの整備など、市民生活や交流を支える基盤である市道の整備改良を促進いたします。事業名は道路維持管理事業。事業名、道路改良事業でございます。

一つ、公共工事のスムーズな執行や、災害時など不測の事態に対応する能力を確保するため、新たな建設残土処分場の建設に向けた調査を実施いたします。事業名、建設残土処分場建設事業。

一つ、三高港について、利用実態や公共施設の再編整備計画との整合を図りつつ、今後の地域のあり方を検討いたします。事業名、三高港を中心とした周辺整備計画策定事業。

7 「地域が元気で、にぎやかなまち」、地域部門でございます。

一つ、外部人材を活用した地域の活性化を図るため、先進事例の調査や、地域とのマッチングなど、地域おこし協力隊の活用に向けた準備を実施いたします。事業名が地域おこし協力隊派遣事業。

一つ、体験型修学旅行の受け入れを地域活性化につなげるとともに、本市特産品のブ

ランド化を図るため、土産物カタログを整備いたします。事業名、土産物カタログ作成事業。

一つ、外国人市民の言葉や心の壁を取り除き、孤独化を防ぐため、日本語サロンの開設支援などを実施いたします。事業名が外国人市民交流事業でございます。

一つ、市民参加型の協働のまちづくりを推進するため、意欲ある地域団体が提案する取り組みについて支援いたします。事業名、まちづくり団体支援補助金でございます。

一つ、持続可能な地域社会の構築に向け、えたじま暮らし体験の提供や、住居取得の支援などにより、交流の拡大及び定住人口の確保を図ります。事業名が交流定住促進事業でございます。

最後に、企業会計についてでございます。

一つ、水道事業については、安全でおいしい水の安定供給に努めるとともに、老朽管更新事業を推進し、市民生活の向上に努めてまいります。事業名は水道事業でございます。

一つ、下水道事業については、持続的・効率的な下水道整備と、維持管理に努めるとともに、健全経営を目指してまいります。事業名は下水道事業でございます。

一つ、交通船事業については、中町・高田から宇品航路の公設民営化への移行に向け、必要な手続を進めるとともに、移行までの間、効率的な経営を図りつつ、安全かつ適切な航路運営を行ってまいります。事業名は交通船事業でございます。

このほか、東日本大震災の被災地支援につきましては、気仙沼市への職員派遣の継続に引き続き取り組んでいくこととしております。

今回の新規・拡充事業の内容につきましては、事業ごとに資料を作成したものを最後に添付しております。

以上が、江田島市の平成27年度当初予算の概要でございます。慎重かつ十分な御審議をいただき、適切なる判断をお願いしたいというように思います。

以上で、私の施政方針を終わります。

○議長（山根啓志君）　これで市長施政方針を終わります。

## 日程第2　議案第1号～日程第14　議案第13号

○議長（山根啓志君）　日程第2、議案第1号　平成27年度江田島市一般会計予算から、日程第14、議案第13号　平成27年度江田島市交通船事業会計予算までの13議案を一括議題といたします。

直ちに提出者から提案理由の説明を求めます。

田中市長。

○市長（田中達美君）　ただいま一括上程されました議案第1号から議案第13号までの平成27年度の各会計の当初予算案について御説明いたします。

まず、議案第1号　平成27年度江田島市一般会計予算でございます。

歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ149億6,500万円と定めるものでございます。

先ほど私が施政方針で述べましたものが、この一般会計の当初予算の中に網羅されております。今回の予算は、合併市制施行から11年目となる節目の予算であるとともに、第2次江田島市総合計画に基づいて編成する初めての予算でございます。予算編成に当たりますには、引き続き、私の2期目のスローガンであります、「交流・創造・実感」及び「行財政改革の着実な推進」を重点的なテーマとしつつ、これまでの合併10年間の成果と課題をしっかりと踏まえ、第2次総合計画に掲げる将来像、「交流と協働で創り出す『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、必要な取り組みを随所に盛り込み編成いたしました。

予算規模は、前年度当初予算と比較すると6億6,700万円、4.7%の増額となっております。限られた財源の中で、「選択と集中」を徹底しながらも、「交流・創造・実感」並びに第2次総合計画の将来像の実現を目指す、言い換えれば「新たな未来に踏み出す予算」と考えております。

以下、議案第2号から議案第10号までは、平成27年度江田島市国民健康保険特別会計予算を初めとする九つの特別会計予算、議案第11号から議案第13号までは、平成27年度江田島市水道事業会計予算を初めとする三つの企業会計予算の提案でございます。

内容につきましては、これから慎重かつ十分な御審議をいただくとともに、何とぞ適正なる御判断、御議決を賜りますようよろしくお願い申し上げまして、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○議長（山根啓志君） 以上で、提案理由の説明を終わります。

お諮りします。

ただいま一括議題といたしました議案第1号 平成27年度江田島市一般会計予算から議案第13号 平成27年度江田島市交通船事業会計予算までの13議案については、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、各常任委員会の所管事項別に各分科会へ分割付託し、休会中の審査とすることにしたいと思っております。

これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本13議案は、全議員で構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託し、休会中の審査とすることに決定しました。

お諮りします。

ただいま設置されました予算審査特別委員会の正副委員長の選任についてはいかがいたしましょうか。

（「議長一任」の声あり）

議長一任とのことですが、これに御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

御異議なしと認めます。

それでは、議長において委員長に野崎剛睦議員、副委員長に胡子雅信議員を指名いたします。

以上で本日の日程は全て終了しました。

本日はこれにて散会します。

なお、明日2月27日から3月11日までの13日間は予算審査等のため休会とし、次回は3月12日に開会いたしますので、午前10時までに御参集お願いいたします。

また、議会終了後、議会運営委員会を正副議長室で行います。あわせて午後1時から予算審査特別委員会事前協議会を行いますので、議員の皆さんは会議室に御参集お願いいたします。

本日は御苦労さまでした。

(散会 10時32分)